

令和3年度  
社会福祉法人 鳳雛会  
事業報告書

社会福祉法人 鳳雛会

# 社会福祉法人鳳雛会 障害者支援施設どんぐり等事業報告書

## I 障害者支援施設どんぐり事業報告書

### 1、総括

どんぐり 施設入所 デイ ショート 居宅 相談支援事業について入所については、入退所なく、定員 30 名の満床。長期の入院等もなく、大きな増減なく経過している。

今年度事業として

職員配置の強化、今後の医療的ケアの受け入れ、看護師業務の安定化を図るため、看護師を募集し、令和 4 年 1 月 17 日より、準職員の看護師を配置。

日常生活の質の向上を図るため、理学療法士、作業療法士をさらにどちらか 1 名を配置し、入園者の方の身体機能の維持、向上に努める方針。

そして、来年度の令和 4 年度より快適な生活、より安全な生活を送って頂くため、生活支援員の増員を行う予定。

令和 4 年 4 月から、高校新卒の女性支援員の採用予定。更に、令和 5 年度内に、外国人労働者 2 名の雇用を予定。現在面接、手続き中。

処遇改善、環境整備として

令和 3 年 10 月より、どんぐりの職員に対する処遇改善加算の変更を行い、資格修得に対する支援や手当等の改善をはかる。

園内でのクラスターを防ぐため、奈良県の福祉医療部より「障害福祉施設等クラスター発生防止事業」の研修を受け、コロナウイルス予防対策マニュアルを作成し、施設職員に周知する。

クラスター回避のための陰圧機の設置及びクラスター発生時におけるゾーニングのシミュレーションを行う。

職員の腰痛予防のための、パワーアシストスーツ 2 台の配備を行い、職員のケアに努める。

陰圧機とパワーアシストスーツの購入は公的助成を利用し、安価で入手。

年度行事として

4 月のお花見、7 月の花火、8 月の縁日、9 月の屋台ランチ、10 月のスポーツデー、11 月の紅葉ツアーどんぐりバイキング、12 月のイルミネーションツアー、クリスマスパーティー、1 月の初詣などのイベント、行事を行い、コロナで控えているイベントに負けない楽しさを提供する。

日常においては、インゲン豆の皮むきのお手伝い、ゴーヤやトマトの栽培、音楽レッスン、クレイクラフト教室、ラッキーナンバーくじなどいろいろな生活場面を提供する。

社会貢献、地域還元として

香芝中学校への職場体験事業に参加する。

香芝北中学校の支援学級の生徒たちが毎年行っている焼き芋の場所の提供を行う。

香芝市内にある、ボーイスカウト、ガールスカウトの場所の提供について、コロナ明けになれば提供するなど、地域への貢献、還元を行う。今年は冬のイルミネーションも公開した。

課題として

空調機の入替え、災害時の非常用電源及び避難時の体制の整備があげられる。

このことについては、現在公助の助成を模索中。

職員体制

施設長兼サービス管理責任者 1 名 総務部長 1 名 事務員 2 名 介護主任 1 名

医師 1 名(嘱託) 看護師 1 名 介護職員 30 名(内 9 名常勤 21 名非常勤)

運転手 2 名 栄養士 1 名 調理員 9 名

### 2、支援

#### (1)利用者の状況

##### ①年齢別の状況

男	0	0	2	4	5	2	4	17	54.6
女	0	0	1	3	3	1	5	13	56.7
計	0	0	3	7	8	3	9	30	55.5

②在所機関の状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上	計
男	1	2	0	2	12	17
女	0	2	1	4	6	13
計	1	4	1	6	18	30

③身体障害者手帳等級別の状況

	1級	2級	その他	計
男	11 (4)	6 (4)	0 (0)	17 (8)
女	9 (7)	2 (1)	2 (2)	13 (10)
計	20 (11)	8 (5)	2 (2)	30 (18)

(2) 生活

タイムテーブル

	平 日	入 浴	土 日
6:00	巡回	巡回	巡回
7:00	起床、排泄、更衣	起床、排泄	起床、排泄、更衣
8:00	朝食、服薬、歯磨き	朝食、歯磨き、バイタル	朝食、服薬、歯磨き
9:00	朝のラジオ体操	入浴	薬塗り
10:00	日課活動	水分補給、排泄	水分補給、排泄
11:30	昼食 服薬	昼食 服薬	昼食、服薬
13:00	排泄	排泄	排泄
13:30	課外活動、処遇	課外活動、処遇	自由時間
16:00	脱車いすタイム	水分補給、排泄	水分補給、排泄
16:30	夕食 服薬	夕食 服薬	夕食、服薬
18:00	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣
20:00	就寝薬	就寝薬	就寝薬
21:00	消灯	消灯	消灯
0:00	巡回	巡回	巡回
3:00	巡回	巡回	巡回

3、行事等

4月中旬どんぐりお花見 5月下旬山荘一泊旅行 7月初旬七夕祭り 8月下旬どんぐり縁日 9月中旬関屋保育園交流会 10月初旬大運動会 10月中旬国内一泊旅行 甲子園観戦(4月~10月) 12月初旬旅行 1月初旬お正月遊び 2月上旬おゆうぎ会 3月下旬ちよとだけマラソン

(1)健康管理

毎週月曜日、木曜日安田医院より安田ドクター往診  
月1回の体重測定、  
入浴前のバイタルチェック等  
年2回の健康診断

(2) 研修

障がい者虐待防止法、感染症予防施設内研修等、危機管理・防犯対策

(5) 地域との連帯

- (1)年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。
- (2)新聞や、研修事業を開き、交流等を図る
- (3)敷地広場の開放・バーベキューコンロ無料貸し出し
- (4)各教室の場所の提供(ジャズダンス教室、空手教室、少林寺拳法教室など)

(6) 防災

年 2 回の防火訓練を行う。

(7) その他

II どんぐり生活介護事業報告書

1.総括

通所デイについては、定員 10 名に対し、稼働率 100%をこえる日もあり、順調に稼働している。

職員体制

施設長兼サービス管理責任者 1 名 総務部長 1 名 事務員 2 名 介護主任 1 名  
医師 1 名(嘱託) 看護師 1 名 介護職員 30 名(内 9 名常勤 21 名非常勤)  
運転手 2 名 栄養士 1 名 調理員 9 名

利用者の状況

①年齢別の状況 (通所の利用者)

	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 64 歳	65 歳 以上	計	平均年齢
男	1	2	2	4	1	2	12	48.4
女	4	2	0	2	1	0	9	36.8
計	5	4	2	6	2	2	21	43.4

②身体障害者手帳等級別の状況

	1 級	2 級	3 級	その他	計
男	10 (3)	1 (0)	0	0	11 (3)
女	8 (4)	0 (0)	0	2	10 (4)
計	18 (7)	1 (0)	0	2	21 (9)

③支援内容

1) 月～金曜日 10:00～16:00 ※祝日は除く

2) 送迎 8:00～10:00 16:00～18:00

3) タイムテーブル

10:00 到着 水分補給 バイタルチェック

10:30 入浴 排泄等 (3F ジャグジーや岩盤浴にて足浴)

11:30 昼食 服薬

13:00 排泄

13:30 課外活動 処遇 (クレイクラフト、カラオケ、ボーリングなど)

15:00 排泄、水分補給

16:00 出発

4) 行事

どんぐり施設と合同行事に参加、園外での外出(遠足、観劇、ピクニックなど)

5) 健康管理

月 1 回の体重測定、

入浴前のバイタルチェック等

6) 地域との連帯

- ①年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。
- ②事業所イベントに参加して、様々な社会参加を行っている。
- ③新聞や、研修事業を開き、交流等を図る

④防災

年2回の防火訓練を行う。

⑤その他

Ⅲ どんぐりショートステイ事業所事業報告書

1.総括

短期入所については、ロングショート需要が増え、現在9床の内6名が利用。来年度には明日香養護学校卒業の方が1名検討中で、90%以上の稼働率で利用されている。

職員体制

管理者兼サービス管理責任者1名 総務部長1名 事務員2名 介護主任1名 医師1名 (嘱託) 看護師1名 支援職員30名(内6名常勤 24名非常勤) 運転所3名 栄養士1名 調理員10名

利用者の状況

① 年齢別の状況

	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65歳 以上	計	平均年齢
男	2	4	2	2	1	1	12	41.0
女	0	2	0	2	0	0	4	45.5
計	2	6	2	4	1	1	16	42.1

② 利用者出身市町村

	3市1町	奈良県内	大阪府	その他	計
男	4	7	1	0	12
女	3	1	0	0	4
計	70	8	1	0	16

③ 生活

タイムテーブル

	平 日	入 浴	土 日
6:00	巡回	巡回	巡回
7:00	起床、排泄、更衣	起床、排泄	起床、排泄、更衣
8:00	朝食、服薬、歯磨き	朝食、歯磨き、バイタル	朝食、服薬、歯磨き
9:00	薬塗り	入浴	薬塗り
10:00	水分補給、排泄	水分補給、排泄	水分補給、排泄
11:30	昼食 服薬	昼食 服薬	昼食、服薬
13:00	排泄	排泄	排泄
13:30	課外活動、処遇	課外活動、処遇	自由時間
15:00	水分補給、排泄	水分補給、排泄	水分補給、排泄
17:00	夕食 服薬	夕食 服薬	夕食、服薬
18:00	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣	歯磨き、更衣
20:00	就寝薬	就寝薬	就寝薬
21:00	消灯	消灯	消灯
0:00	巡回	巡回	巡回
3:00	巡回	巡回	巡回

## 行事等

4月中旬どんぐりお花見会席 5月下旬山荘一泊旅行 7月初旬七夕祭り 8月下旬どんぐり縁日 9月中旬関屋保育園交流会 10月初旬大運動会 10月中旬国内一泊旅行 甲子園観戦(4月～10月) 12月初旬旅行 1月初旬お正月遊び 2月下旬おゆうぎ会 3月下旬ちよとだけマラソン

## ④健康管理

毎週月曜日、金曜日安田医院より安田ドクター往診  
月1回の体重測定、  
入浴前のバイタルチェック等

## IVホームヘルプステーションどんぐり事業報告書

### 1. 総括

居宅については、コロナの為、外出支援が減少気味ではあるが、生活を支えていることもあり、在宅での身体介護や家事援助、通院介助については大きな変化はない。

### 職員体制

管理者1名 サービス提供責任者1名 ヘルパー5名

### 利用者の状況

#### ① サービス種別状況

	身体介護	通院介護	移動支援	家事援助	同行・行動	合計
男子	2	2	2	0	2	8
女子	2	1	1	2	2	8
合計	4	3	3	2	2	14

#### ② 利用者出身市町村

	香芝市	大和高田市	葛城市	広陵町	その他	合計
男子	5	1	0	0	0	6
女子	2	1	0	2	0	5
合計	7	2	0	2	0	11

## V相談支援センターどんぐり事業報告書

### 1. 総括

相談支援事業については、年々計画相談の依頼が増加している。

### 職員配置

管理者1名 相談支援員2名

#### ① 計画相談 市町村別登録者数

市町村名	宇陀市	王寺町	川合町	橿原市	葛城市	広陵町
登録者数	1	3	2	3	14	62
市町村名	香芝市	桜井市	上牧町	大和郡山市	大和高田市	天理市
登録者数	238	3	3	1	9	1
市町村名	田原本町	平群町	明日香村	大治町	16市町村	

登録者数	1	2	2	1	336
------	---	---	---	---	-----

② 区分判定調査 市町村別利用者数

市町村名	香芝市				1市
利用者数	43				43

③ 相談支援連絡会

市町村名	香芝市	自立支援協議会 (3市1町)	相談支援部会 (3市1町)	3団体
開催回数	3回	4回	5回	12回

4、 地域との連帯

- (1) 年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。
- (2) 事業所イベントに参加して、様々な社会参加を行っている。
- (3) 新聞や、研修事業を開き、交流等を図る

5、 防災

年2回の防火訓練を行う。

6、 その他

VI どんぐり学園香芝校 (児童発達支援事業、放課後等デイサービス)

1、 総括

引き続き、身体障害、知的障害、発達障害等多種にわたる障害をもった児童に対し、集団生活の適応能力、日常生活動作の確立、コミュニケーション能力の向上等これから先、自分の力で生活する能力をつけるようこの1年取り組んできた。  
地域に帰った園児も集団活動ができずに、平行通園となる例もあがり、再入園して改善の結果がでた。

2、 職員体制

管理者1名 サービス管理責任者1名 保育士4名 児童指導員5名

3、 支援

(1) 利用者の状況

	未就学	小学生	中学生	高校生	合計
男子	11	4	4	2	21
女子	7	4	2	3	16
合計	18	8	6	5	37

(2) 利用者出身市町村

	香芝市	大和高田市	葛城市	広陵町	その他	合計
男子	15	1	0	1	4	21
女子	12	0	0	1	3	16
合計	27	1	0	2	7	37

(3) 生活

タイムテーブル

10:00	どんぐり到着 朝礼 排泄	※朝礼 排泄、うがい、手洗い	13:30	どんぐり到着 手洗い・排泄	※到着 排泄、うがい、手洗い
10:30	日課活動 フラッシュカード 文字遊び 本読み及び 読み聞かせ	バイタル、体調チェック 今日の予定の発表	14:00	日課活動 フラッシュカード 文字遊び 本読み及び 読み聞かせ	バイタル、体調チェック 今日の予定の発表
11:30	室内サーキット	※午前 視覚、聴覚の 訓練	15:00	排泄・水分補給	※午後 視覚、聴覚の 訓練
12:45	昼食		15:30	日課活動	※活動内容 曜日により決定 表-1 参照
13:00	排泄	※活動内容 曜日により決定 表-1 参照	16:30	終わりの会 排泄・水分補給	※終わりの会 バイタル、体調チェック 連絡帳の記入
13:45	活動		17:00	どんぐり出発	明日の予定の発表
14:00	排泄・水分補給	出発前 バイタル、体調チェック 連絡帳の記入 明日の予定の発表			

(表-1)

	目的・目標	活動内容
制作	・制作をすることにより、手先を使い、色彩の感受性などを培い、五感の発育を促す事を目的とする	・ねんど制作 ・お絵かき ・折り紙 ・工作など
自由活動	・他の活動以外の支援を柔軟に遂行し、バランスのとれた活動とすることを目的とする	・お歌の練習 ・おゆうぎ など
入浴	・身体の清潔を保ち、心身ともリラックスする ・洗身洗髪訓練、入浴の習慣をつけることを目的とする	・脱衣 ・洗身 ・洗髪 ・着服
交流	・同世代のお友達と交流をはかり、集団生活というものを経験、理解、認識をして頂くことを目的とする	・ハルナ園児との交流
運動	・色々な遊具や道具を使用し、運動能力を発達させるとともに身体機能の発育を促すことを目的とする	・園外の公園に出かける等

## (4)健康管理

来園後のバイタルチェック等

## 4、 地域との連帯

- (1) 年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。
- (2) 地域の幼稚園、保育園との交流会
- (3) 社会見学（消防署や公共施設の見学会）

## 5、 防災

年2回の防火訓練を行う。

## 6、 その他

## VII どんぐり学園河南校 （児童発達支援事業、放課後等デイサービス）

## 1、 総括

今年度も富田林保健センターとの関係が良好で、コロナ禍以前の2年前よりは件数は少ないものの、9月以降に問い合わせも増え、新規児童の通園も徐々に増加傾向にある。また河南町の障害福祉課、太子町の子育て支援課、富田林市こども未来室からの紹介もあり、定員の10名には到達しているものの、6歳までの未就学児対象の「児童発達支援事業」の利用日数が減り、小学生以上対象の「放課後等デイサービス」の利用日数が増えている傾向にある。（昨年度の比率割合 7：3、今年度の比率割合 4：6）

療育面では引き続き、多種の障がい、発達に不安のある児童を受け入れ、集団生活の適応能力向上を主に、日常生活動作の確立、コミュニケーション能力の獲得等、将来自分の力で出来るだけ生活する能力をつけるよう取り組んできた。また、学園を卒園し地域へ戻った児童への療育の継続の場として、並行通園する例も多くあがり、地域の幼稚園等と連携し情報共有することによって、児童にとってより良い環境になるなど、改善の結果も出ている。

他方、地域交流の面ではコロナ禍のため、昨年度に引き続き外部との交流活動がほぼ全て出来ない年度となった。ただ、その中でも香芝校との定期的な交流会は続け、夏休みお楽しみ会やおもちつき大会を開催。またハルナスポーツデイへの参加、どんぐりクリスマスパーティーへの参加など、法人内での交流は徐々に実施できるようになってきている。地域とともに共生する体制作りに関しては、今後の状況を注視し慎重に取り組



んでいく。

## 2、職員体制

管理者兼サービス管理責任者 1 名 保育士 1 名 児童指導員 2 名 庶務 1 名

## 3、利用者の状況

### (1)学年別の状況

	未就学	小学生	中学生	高校生	合計
男子	11	10	0	0	21
女子	8	4	0	0	12
合計	19	14	0	0	33

### (2)利用者出身市町村

	河南町	太子町	富田林	千早赤坂	その他	合計
男子	1	5	14	1	0	21
女子	0	2	9	0	1	12
合計	1	7	23	1	1	33

### (3)生活

#### タイムテーブル

9:00	どんぶり到着 朝礼 排泄	※朝礼	排泄、うがい、手洗い
10:00	日課活動 フラッシュカード 文字遊び 本読み及び 読み聞かせ 集団療育活動	※午前	バイタル、体調チェック 今日の予定の発表 集団療育中心の活動
11:30	昼食	※活動内容	曜日により決定 表-1 参照
12:30	自由活動 (個別療育含む)	※終わりの会	バイタル、体調チェック 連絡帳の記入 明日の予定の発表
13:30	終わりの会 水分補給		
14:00	どんぶり出発		

(表-1)

	目的・目標	活動内容
製作	・製作をすることにより、手先を使い、色彩の感受性などを培い、五感の発育を促す事を目的とする	・ねんど製作 ・お絵かき ・折り紙 ・工作など ・月毎にテーマを決めて製作物を作成
身辺自立	・着替えやトイレの他、様々な生活していく上で必要な技能を自力で出来るようにすることを目的とする	・トイレトレーニング ・ボタン通し ・食事など ・集団・個別に分かれて行う
自由活動	・他の活動以外の支援を柔軟に遂行し、バランスのとれた活動とすることを目的とする	・おもちゃあそび ・おゆうぎ など ・集団での活動をメインとする
交流	・同世代のお友達と交流をはかり、集団生活というものを体験、理解、認識をして頂くことを目的とする	・ハルナ園児との交流 ・地域幼・保との交流など
運動	・色々な道具や道具を使用し、運動能力を発達させるとともに身体機能の発育を促すことを目的とする	・園庭での運動遊び ・農園活動 ・スポーツ講習 ・園外の公園あそび ・地域のおさんぽ探検など

### (4)健康管理

来園後のバイタルチェック、連絡帳のやりとり等

## 4、地域との連帯

- (1) 年間を通し、地域の幼稚園、保育園との交流を行っている。
- (2) 地域の幼稚園、保育園、介護施設・事業所への訪問等の交流会
- (3) 社会見学（消防署や公共施設の見学会・図書館・地元農業体験など）

## 5、防災

1ヶ月に1回の防火避難訓練を行う。

## 6、その他

# 社会福祉法人鳳雛会 ハルナ保育園事業報告書

## I 保育園の運営

所在地	奈良県香芝市鎌田281-1 香芝市瓦口2309-1 IBグラウンド102号室 香芝市穴虫1050-3
施設名	ハルナ保育園本園・五位堂分園・二上分園
定員	188名

## II 保育目標

### ※人間性の根っこを育てる

“三つ子の魂百まで”のことわざ通り、子ども達の将来の豊かな育ちは、この時期の教育環境に大きく左右されます。ハルナ保育園では「人間の能力は幼児期に決まる」を基本理念に、こころ・からだ・あたまのいずれに偏ることのない総合幼児教育を実施し、子ども達の人間性の根っこを育てます。

### ※幼児期にこそ育つ「感謝の心」「奉仕の心」

人が生きていくためには、多くの支えを必要とします。

親の恩、社会の恩、人の恩に感謝する心を理屈でなく、感性的に育てていくことができるのも幼児期だからこそです。こうして培われた感謝の心が本性的にいきづき、やがて徳性として輝き、そして自ら進んで他者へつくす、奉仕の心(ボランティア精神)へとつながっていくのです。

### ※常勤外国人講師とともに自然な英語環境

ハルナ保育園では、常勤外国人講師が、子ども達と日々の生活を一緒に過ごしています。これは、単に言語だけにとどまらず、異文化とのふれあいを通じて、真の国際人として将来独立していくための根っこづくりとして取り組んでいます。

### (1)保育時間

午前8時～午後6時

但し、保護者の要望により早朝7時、延長保育は23時までの特別保育を実施。

(2) 保育内容

幼児体育・Full English・おゆうぎ・うた・ことば・オペレッタ・製作・絵画  
自然・おはなし・こころ・ブロック・おままごと

(3) 年間行事

春の遠足・七夕まつり・運動会・いもほり・クリスマス会・おもちつき大会  
おゆうぎ会・その他

### Ⅲ 保育方針

政府の保幼保一体化の方針に鑑み、昨年度に引き続き、保育のみによらない教育と遊びの活動の場として充実をはかることを今年度の運営方針とする。

教育は感じ絵本の導入・右脳教育の徹底・遊びは大型遊具での粗大運動を取り入れ、園児の活動や発達を促進する。

### Ⅳ 保育設備

奈良県警直通非常通報装置を設置